

## 【エクアドル内政:2016年11月】

### 1. 内政

#### (1) 閣僚の交替

ア コレア大統領は、11日15日付大統領令第1232号により、内務大臣、教育大臣、電力・再生可能エネルギー大臣の辞任を了承し、それぞれの大臣代理を決定したところ、辞任した閣僚及び大臣代理の氏名は以下の通り。

##### ① 辞任した閣僚

ホセ・セラノ内務大臣

アウグスト・ハビエル・エスピノサ教育大臣

エステバン・アルボルノス電力・再生可能エネルギー大臣

##### ② 大臣代理

ディエゴ・フエンテス・アコスタ内務大臣代理

フレディ・ペニャフィエル・ラレア教育大臣代理

ホセ・メダルド・カデナ・モスケラ電力・再生可能エネルギー大臣代理

イ 大臣代理は3名とも前ポストは副大臣。

ウ 3名のうち、ホセ・メダルド・カデナ・モスケラ電力・再生可能エネルギー大臣代理は、11月25日付大統領令第1237号により、同省大臣に任命された。

エ① エクアドル選挙法第3章は、政治団体からの候補者擁立について定めており、同法同章第96章第6項は、大臣や副大臣等、自由裁量処分により任命の公職者が公職選挙に出馬する場合、同公職者の候補者としての国家選挙審議会(CNE)への正式登録より前に現職を辞任しなければならないことを定めている。

② 今次辞職の3閣僚は政治団体より国会議員候補となることが決まったため、上記選挙法の条文に従い辞職したものの。

③ 与党APの国会議員候補者登録は16日に行われており、これ以降は国会議員出馬のための閣僚の交替はないものと推測される。なお、CNEへの正式登録期間は11月18日18:00までである。

④ 同様に、同選挙法同章第93条は、国会議員が別の役職として選挙に立候補する場合、候補者としてのCNEへの正式登録より前に現職を辞任しなければならないことを定めており、右によりガブリエラ・リバデネイラ国会議長(インバブーラ県選挙区議員として選出され、これまで国会議長を務めていたが、AP全国区の候補者に立候補するため、16日までに辞任した。)、シンティア・ビテリ氏(PSC全国区選出議員であったが、大統領候補者に立候補するため、国会議員については辞任している。)等が辞任している(な

お、同条から、同じ役職として選挙に立候補する場合は、現職を辞任する必要はないとされ、例えばホルヘ・グラス現副大統領(次期大統領・副大統領選挙におけるAPの副大統領候補)は辞任していない。)

## (2) 2017年選挙の立候補者の受付終了

11月18日、国家選挙審議会は、次期大統領・副大統領及び国会議員選挙の立候補者の受付を終了し、以下の8組の大統領・副大統領候補が正式に登録された。

(以下、全国政治団体の登録番号順に、(1)にて大統領候補、(2)にて副大統領候補を記載。)

ア 国民連合党(UP) (登録番号同2)、左派民主党(ID) (同12) 及びパチャクティック党(Pachakutik) (同18) (「改革のための国民合意」運動)

① パコ・モンカヨ

② モンセラット・ブスタマンテ

イ 愛国社会党(PSP) (登録番号3)

① パトリシオ・スキランダ

② ジョニー・ジョージ・アラバ

ウ フェルサ・コンプロミソ・ソシアル党(FCS) (登録番号5)

① イバン・エスピネル

② ドリス・キロス

エ キリスト教社会党(PSC) (登録番号6)

① シンティア・ビテリ

② マウリシオ・ポソ

オ フェルサ・エクアドル党(PFE) (登録番号10)

① アブダラ・ブカラム・プジェイ

② ラミロ・アギラル

カ ウニオン・エクアトリアーナ党(UE) (登録番号19)

① ワシントン・ペサンテス

② アレックス・アルシバル

キ CREO党(CREO) (登録番号21) 及びSUMA党(SUMA) (登録番号23)

① ギジェルモ・ラソ

② アンドレス・パエス

ク 国家連盟党(AP) (登録番号35)

① レニン・モレノ

② ホルヘ・グラス

### (3) ドウラン・バジェン元大統領の逝去

11月15日夕刻、ドウラン・バジェン元大統領が逝去し、これを受けて、コリア大統領が、大統領令第1233号により、同元大統領への敬意を表すべく、16日から3日間を服喪期間とする旨発表した。

## 2. 外交

### (1) 米大統領選挙結果に関する外務省プレスリリース等

11月9日、米大統領選挙結果を受け、エクアドル外務省は、ドナルド・トランプ氏が当選した同選挙の実施を祝う旨のプレスリリースを発出した。また、同選挙以前に、「ラ米にとってはトランプ氏の当選が望ましいが、米国のため、また個人的に高く評価しているクリントン氏に当選してほしいと思っている。」等発言していたコリア大統領は、11月11日、自身のツイッターにて、本件に関し投稿し、トランプ氏と立場を共有しない旨述べている。

ア 9日付エクアドル外務省プレスリリース概要

- ① エクアドル政府は、11月8日に実施された大統領選挙及び連邦議会議員選挙の実施について、米国民に祝意を表する。
- ② エクアドル政府は、当選したドナルド・トランプ氏と、相互尊重に基づく関係を維持することを望む。

イ 11日付コリア大統領投稿概要

- ① 全ての人間は平等であり、それぞれが生命、自由、幸福追求の権利を持っており、右はエクアドルやラ米全体においても明らかなことである。右信念は、一人の候補の当選によって曲げられるものではない。自分（「コ」大統領）は、トランプ氏のイデオロギーや道徳を共有せず、個人的にはそのような友人を持ちたいとは一切思わない。しかし、我々は、全ての国の決定に敬意を表すのであり、米国民のための大いなる成功を祈る。
- ② 素晴らしい女性であり、我々が極めて高く評価するクリントン氏へ敬意を表す。ビルの施政の時代に、自分（「コ」大統領）は米国で数年間勉強しながら幸せな時間を過ごした。
- ③ 将来はブロック世界になるであろう。ブロックとして、人権、気候変動対策、誰も望んでいない「世界の警察」の必要性等、北米との衝突を扱っていくために、CE L A Cの強化と決定的に米国の主導権下にあるO A Sの利用が必要である。

## (2) 習近平中国国家主席のエクアドル訪問

APEC首脳会議出席の機会に、習近平中国国家主席他閣僚数名は、11月17日及び18日の日程で、エクアドルを訪問（その後、ペルー、チリを訪問。）。首脳会談、ECU911の強化及び機材整備計画供与式出席、チョネ市（マナビ県）におけるチョネ病院再建関係者とのテレビ中継、コカ・コード・シンクレー水力発電所竣工及び関係者とのテレビ中継等を行った他、以下の内容の共同声明を発出した。

ア 共同声明表題：包括的・戦略的パートナーシップ（Asociacion Estrategica Integral）に関するエクアドル・中国共同声明

イ 冒頭

- ① 習近平中国国家主席は、コレア・エクアドル大統領の招待を受け、11月17日及び18日の日程でエクアドルを公式訪問した。右は中国国家主席としては初のエクアドル訪問であり、両国の伝統的且つ友好的関係の発展のための画期的機会となった。
- ② 同訪問において、両国首脳は二国間関係、中国・ラ米及びカリブ間関係、共通の利益である国際及び地域的課題について、深く意見交換し、また重要な合意に達した。
- ③ 両国首脳は、36年間のエクアドルと中国の外交関係において、両国は、平等、相互利益の共有、利益の共有の原則に基づく二国間の絆の進展を、一貫して、推進してきたことで一致した。
- ④ エクアドル中国の戦略的パートナーシップ（Asociacion Estrategica）の構築により、二国間関係は、加速的に発展する新たな段階となった。右により、政治的相互信頼関係の深化、相手国の重要な利益や懸念への確固たる支持、成果のある協力の強化の継続、両国国民の友好の継続的深化をもたらす文化交流の強化、幅広い分野における素晴らしい包括的発展をもたらす発展途上国の共通利益の保護のための意思疎通と連係の強化があったことは明白である。
- ⑤ エクアドル・中国の絆の更なる深化は両国及びその国民の基本的利益である。国民の発展と繁栄のための中国・エクアドル間の利益は、両国の関係を「包括的・戦略的パートナーシップ（Asociacion Estrategica Integral）」の次元に高めるという決定に導く。
- ⑥ 両国は、エクアドル及び中国の間の包括的・戦略的パートナーシップの基礎は政治的相互信頼であると強調する。両国は国家主権、領土保全の尊重及び相手国の重要な利益や懸念への理解及び相互尊重について強調する。エクアドルは、一つの中国の政策への強い参加を再確認し、沿岸地域関係の平和的展開、中国の統一のための努力を尊重する。

ウ 各論

- ① 中国は、エクアドルの現実に即した発展と独立、主権、領土保全、安全保障を擁護するためのエクアドル国民の努力に対し、支持を表明する。
- ② 両国は、政府機関間、立法機関間、政党間、地方機関間の交流を促進するなど、ハイレベルの意思疎通を強化する。同様に、二国間関係及びその他共有の利益にかなう議題について、合意できる分野を拡大し、相互的政治信頼関係を強化することができるように、対話チャンネル、連係推進継続による両国間の外務省の協力を強化する。
- ③ 両国は実用的協力が、エクアドル中国包括的・戦略的パートナーシップの重要な一部を成すことで一致し、様々な分野における両国の協力を一層進展させる。両国は、生産力・投資に関する協力の運営委員会、経済・貿易に関する混合委員会、農業協力に関する共同委員会、科学・技術に関する混合委員会等の異なるメカニズムの役割を最大限発揮させ、両国の開発戦略の関係を強化する方針。
- ④ 両国は、経済と二国間貿易の補完性の潜在性を更に追及し、持続的且つ安定的で平衡な発展を推進する。また、投資及び二国間貿易を促進し、一方の製品の他方の市場への参入を円滑にする。
- ⑤ 両国は生産能力及び投資の分野における協力を強化し、炭化水素（石油）、鉱山、インフラ、水力発電所、技術移転、情報通信、ファイナンスの分野における重要な協力事業を実行する。また、特に農業、石油化学、造船、冶金、製紙等の分野における協力を促進する。中国は、エクアドルの産業化プロセスを助け、独立した発展のための能力を高めるため、技術移転を促進する用意がある。両国は、それぞれの企業及び金融機関を強化及び支援し、貿易の原則及び国際慣習に則り、エクアドル及び南米の石油化学分野の発展のための柱であるパシフィコ製油所のような案件についての交渉を促進する。
- ⑥ エクアドルは、2016年4月16日に発生した地震の影響に対処するための中国の確固たる支援に感謝する。中国は、防災及び災害緩和能力向上のためのエクアドルとの協力を強化させる方針、また、被災民の住居再建、経済再活性化のために国民を支援する目的を持って、病院や住宅、空港や道路等のインフラ等の社会開発案件を共に進展させることにより、被災地の復興に積極的に参画する。
- ⑦ 両国は科学・技術分野の交流を強化する意向である。中国はヤチャイ及びプロメテオ事業に引き続き積極的に参加し、研究と相互革新から、研究の成果である産業商品の転換と商業化まで、両国の科学研究所、高等教育機関、企業間の科学・技術協力を促進する。
- ⑧ 両国は、教育、文化、保健、スポーツ、観光、司法の分野における人物交流及び協力にとって更なる良い条件を作ることへの意欲を表明した。両国の国民の相互理解と友好を継続的に強化していくため、メディア、アーティスト、青少年組織の間の交流を提供し、学生交流を増進させる。

⑨ 両国は、国際場裡及び地域における様々な重要な議題における共通利益を幅広く共有していること及び国際場裡における連係と協力は互いの戦略的相互信頼の高さの表明であることで一致する。両国は、国連憲章の原理原則の尊重を強調し、多極化世界及び国際関係の民主化の構築を促進することを確認する。国連やG77等の多国間メカニズムの枠組みにおいて、両国は、南南協力及び発展途上国の利益擁護のため、国連改革、世界経済のガバナンス、気候変動、持続可能な開発のためのアジェンダ2030等の重要な国際議題における緊密な意思疎通と協力を維持する。中国はハビタット3の成功裏の開催についてエクアドルに敬意を表し、両国は人間の居住環境における国際的な協力を引き続き促進していくことへの関心を表明する。中国は2017年1月からのG77議長国としてのエクアドルを支持し、国際議題における途上国の声及び影響力を高めるため、同グループへの協力を深化させていく意向である。

⑩ 両国は中国・ラ米及びカリブ間の協力における前向きな発展に満足の意を表明し、平等、相互利益、共有される発展に特徴付けられる中国・ラ米及びカリブ間包括的協力パートナーシップ（Asociacion de Cooperacion integral entre China-America Latina y el Caribe）の深化していくことで一致した。中国は、中国－CELA Cフォーラムの構築推進におけるエクアドルのCELA C議長国及びカルテット・メンバーの期間の重要な役割について、高く評価する。両国は、中国・ラ米及びカリブ全域間の協力を共に継続的に促進するための意思疎通と連係を維持する。

#### エ 結び

習近平国家主席は、コレア大統領及びエクアドル国民に対し、訪問中の代表団を温かく受け入れてくれたことに対する謝意を表明する。

### （3）フィデル・カストロ・キューバ前国家評議会議長の逝去に関するエクアドル外務省プレスリリース

カストロ・キューバ同前議長の逝去について、11月26日付エクアドル外務省プレスリリースにて、キューバ国民及び政府に対し哀悼の意を表明し、同前議長の功績を強調する声明を公表した（概要は以下のとおり）。

ア エクアドル政府は、キューバ革命の指導者であり反帝国主義のための戦いの英雄であるフィデル・カストロ氏の逝去に関し、キューバ国民及び政府へ深い哀悼の意を表す。

イ 同氏による大きな遺産は、キューバの社会、経済、文化、政治の構造の劇的な変化をもたらしたキューバ革命だけに収まらない。なお、右革命は、国民解放のため、教育、保健・医療、スポーツ、科学開発を通じた社会正義の実現を重視しており、右は今日、南米及び世界の参考となっている。

ウ キューバの外交政策は、冷戦の影響を深く受け、今日も続く米国からの脅威への対抗の必要性に基づき形成されたものである。

エ キューバ革命は、アンゴラにおけるアパルトヘイトを支持する占領勢力への軍の勝利等、アフリカ諸国等第三国の非植民地化にとっての大きな柱となった。他方で、キューバは、保健・医療、教育、文化の分野において長年に亘り様々な国へ国際協力を行っている。

オ また、キューバ革命とカストロ氏は長年に亘り、世界に抑圧された、とりわけラ米及びカリブ地域の国民の主権と尊厳のための戦いにとっての大きな指標となり、カリコムとの関係強化も通じ、ALBAやCELAC等の地域統合プロセスの重要な推進力となった。

カ 2015年米州首脳会議へのキューバの歴史的参加及び最近（当館注：2016年10月）の国連総会における米国による対キューバ経済制裁に反対する投票が初めて反対票無し行われたことは、キューバを支持し、一方的侵害に反対する世界的コンセンサスを示している。

キ 米国及びキューバ間の接近という歴史的機会に、カストロ氏によるキューバの独立及び主権のための不屈の防衛があったことを思い出すことが必要である。エクアドル政府及び国民は、許しがたい経済・貿易政策、移民法（キューバ調整法）、グアタナモ基地の違法占拠等のキューバに対する米国の圧力と侵害を引き続き非難していくため、ラ米、カリブ地域及び世界と声を合わせていく。

ク エクアドル政府及び国民は、キューバ国民の深い痛み、ラ米及び世界の偉人、パトリア・グランデ（大祖国）の建設者、南半球の国民の正義、独立、主権のための不屈な戦士であるフィデル・カストロへのキューバ国民の敬意の表明に賛同する。

（了）